

## 高浜市総合計画審議会(第6回) 会議録

日 時	平成25年12月18日(水) 午後7時～8時30分		
場 所	場 所 高浜市役所 第2会議室	傍聴人数	5人
出席者	委員 中川幾郎、中川勝利、井野代司彦、岩月義成、小松邦明、酒井康満、高桑雄司、内藤靖子、古橋知美、杉浦幸七 (10名出席)		
中期基本計画策定会議メンバー	(兼 副市長	杉浦幸七)	○ 自治推進チーム 岡島正明
	○ 教育長	岸上善徳	○ 財政チーム 竹内正夫
	○ 企画部長	加藤元久	○ 生涯学習チーム 内藤克己
	○ 総務部長	新美龍二	○ 子育て・子育てチーム 磯村順司
	○ 市民総合窓口センター長	大岡英城	○ 産業・観光チーム 山本時雄
	○ 福祉部長	神谷美百合	○ 環境チーム 山下浩二
	○ こども未来部長	神谷坂敏	○ 都市基盤・防犯・防災チーム 芝田啓二
	○ 都市政策部長	深谷直弘	○ 地域福祉チーム 杉浦崇臣
	○ 議会事務局長	森野 隆	○ 健康チーム 加藤一志
中期基本計画策定プロジェクトメンバー	× 自治推進チーム (人事グループリーダー)	野口恒夫	× 都市基盤・防犯・防災チーム (都市整備グループリーダー) 平山昌秋
	○ 生涯学習チーム (学校経営グループ主幹)	神谷 理	○ 地域福祉チーム (介護保険グループリーダー) 篠田 彰
	× 産業・観光チーム (地域産業グループリーダー)	杉浦義人	○ 健康チーム (福祉企画グループリーダー) 磯村和志
			(4名出席)
事務局	市長 吉岡初浩 (兼 企画部長 加藤元久) (兼 地域政策グループ リーダー 岡島正明 (自治推進チームリーダー)) 地域政策グループ 主 幹 三井まゆみ 同 副主幹 鈴木明美 同 主 査 山本衣江 同 主 査 山本久美 同 主 査 榊原雅彦 同 主 事 中村 彩 同 主 事 岡田真吾 (8名出席)		
次 第	1 あいさつ 2 議題 1) 中期基本計画(素案)に対する意見の対応について 【資料2】 2) 市民意識調査結果について 【資料3】 3) 中期基本計画(修正案)について 【資料4】 4) 答申鑑文(案)について 【資料5】 3 その他		
資 料	資料1 高浜市総合計画審議会(第5回)会議録 資料2 第6次高浜市総合計画 基本計画【中期】〔素案〕に対する意見及び回答 資料3 中期基本計画策定にかかる市民意識調査結果【概要】 資料4 第6次高浜市総合計画 基本計画【中期】〔修正案〕 資料5 第6次高浜市総合計画 中期基本計画について(答申)【案】		

## 1 会長あいさつ

- ・先月の素案発表会を皮切りに、素案に対する意見募集や、みんなで目指すまちづくり指標の現状値を測定するための市民意識調査が行われた。
- ・この審議会も6回目を迎え、本日は、いよいよ中期基本計画（案）の最終審議である。「みんなで目指すまちづくり指標」の目標値を入れ込んだ形で、計画案が示されている。会議の最後には、行政に答申できるように、計画案を確定させてまいりたい。

## 2 議題

### 1) 中期基本計画（素案）に対する意見の対応について 【資料2】

事務局：（資料2に基づき説明）  
（質疑なし）

－原案どおり承認－

### 2) 市民意識調査結果について 【資料3】

事務局：（資料3に基づき報告）

### 3) 中期基本計画（修正案）について 【資料4】

会長：・今回の資料は、審議会で審議する箇所について示されているので、第1章「はじめに」と第2章「基本構想」は省略されている。

・「みんなで目指すまちづくり指標」の現状値が全てそろったことから、目標値を入れこんだ形で、第3章「基本計画」（案）がまとめられている。

・また、より市民の皆さんにわかりやすいようにということで、計画の文言が一部修正された箇所もある。

・ただ今から、素案の修正箇所や目標値について、担当リーダーから説明していただくが、説明に入る前に、私の方から一言申し上げておきたい。資料4の8ページ～9ページ、「3. 基本計画の見方」というページをお開きいただきたい。

・改めて確認であるが、左側のページ、「目標」「目標達成に向けての考え方」「こんなことに取り組めます」は議会の議決対象になる部分。右側のページ、「目標が達成された姿」と「みんなで目指すまちづくり指標」は、9ページの一番上を書いてあるように「行政の行動指針」を示している。

・つまり、本日、委員の皆様を示している指標の目標値というのは、目標達成に向けての行政の決意を示したもので、「できる・できない」ということを議論するのではなく、それを目指すという決意である。

・一通り目標値を拝見したところ、困難な状況の中、強い意気込みを持って目標値が設定されている、努力の跡が伺えるという印象を受けた。

・目標値の設定については、「行政の決意を聞く」といった気持ちで、聞いていただければと思う。

行政：（目標（1）の目標値について説明）

会長：・ただいま説明があったが、ご意見・ご質問はあるか。

委員：・全体的な話だが、現状値の欄には、年を入れたほうが良いと思う。

- 事務局 : ・わかりやすいと思うので、入れさせていただきます。
- 会長 : ・それでは、年を入れるということをお願いする。  
・その他はよろしいか。  
－目標（１）は原案どおり承認－
- 会長 : ・次に、目標（２）について、説明をお願いします。
- 行政 : （目標（２）の目標値について説明）
- 会長 : ・ただいま説明があったが、ご意見・ご質問はあるか。  
（質疑なし）
- 会長 : ・それでは、目標（２）は原案通り承認するということによろしいか。  
－目標（２）は原案どおり承認－
- 会長 : ・次に、目標（３）について、説明をお願いします。
- 行政 : （目標（３）の目標値について説明）
- 会長 : ・ただいま説明があったが、ご意見・ご質問はあるか。  
（質疑なし）
- 会長 : ・それでは、目標（３）は原案通り承認するということによろしいか。  
－目標（３）は原案どおり承認－
- 会長 : ・次に目標（４）について、説明をお願いします。
- 行政 : （目標（４）の修正点と目標値について説明）
- 会長 : ・ただいまの説明に関する、ご意見・ご質問はあるか。  
（質疑なし）
- 会長 : ・それでは、示していただいた修正原案通り承認するということによろしいか。  
－目標（４）は原案どおり承認－
- 会長 : ・次に目標（５）について、説明をお願いします。
- 行政 : （目標（５）の修正点と目標値について説明）
- 会長 : ・ただいま、説明があったが、ご意見・ご質問はあるか。  
（質疑なし）
- 会長 : ・それでは、目標（５）は原案通り承認ということによろしいか。  
－目標（５）は原案どおり承認－
- 会長 : ・次に、目標（６）について、説明をお願いします。
- 行政 : （目標（６）の目標値について説明）
- 会長 : ・ただいま説明があったが、ご意見・ご質問はあるか。  
（質疑なし）
- 会長 : ・それでは、目標（６）は原案通り承認するということによろしいか。  
－目標（６）は原案どおり承認－
- 会長 : ・次に目標（７）について、説明をお願いします。
- 行政 : （目標（７）の目標値について説明）
- 会長 : ・ただいま説明があったが、ご意見・ご質問はあるか。  
（質疑なし）

- 会 長 : ・それでは、目標（7）は原案通り承認するということによろしいか。  
－目標（7）は原案どおり承認－
- 会 長 : ・次に目標（8）について、説明をお願いする。
- 行 政 : （目標（8）の目標値について説明）
- 会 長 : ・ただいま説明があったが、ご意見・ご質問はあるか。  
（質疑なし）
- 会 長 : ・それでは、目標（8）は原案通り承認するということによろしいか。  
－目標（8）は原案どおり承認－
- 会 長 : ・次に目標（9）について、説明をお願いする。
- 行 政 : （目標（9）の目標値について説明）
- 会 長 : ・ただいま説明があったが、ご意見・ご質問はあるか。  
（質疑なし）
- 会 長 : ・それでは、目標（9）は原案通り承認するということによろしいか。  
－目標（9）は原案どおり承認－
- 会 長 : ・次に目標（10）について、説明をお願いする。
- 行 政 : （目標（10）の目標値について説明）
- 会 長 : ・ただいまの説明について、ご意見・ご質問はあるか。  
（質疑なし）
- 会 長 : ・それでは、目標（10）は原案通り承認するということによろしいか。  
－目標（10）は原案どおり承認－
- 会 長 : ・次に目標（11）について、説明をお願いする。
- 行 政 : （目標（11）の目標値について説明）
- 会 長 : ・この件について、何かご意見・ご質問はあるか。  
（質疑なし）
- 会 長 : ・それでは、目標（11）は原案通り承認するということによろしいか。  
－目標（11）は原案どおり承認－
- 会 長 : ・最後に、第4章「計画の進行管理」である。前回の審議会で、スペースが空いているならPDCAサイクルの図を入れてはどうかと提起され、図が入っている。その他は、修正はない。何かご意見・ご質問はあるか。  
（質疑なし）
- 会 長 : ・それでは、第4章「計画の進行管理」は原案通り承認するということによろしいか。  
－第4章は原案どおり承認－

#### 4) 答申鑑文（案）について 【資料5】

- 会 長 : ・以上で、審議会としての基本計画（案）は固まった。  
・いよいよ、これを市長へ答申するわけであるが、答申の際につける、鑑の文章の案を事務局が作成してくれたので、事務局から読み上げていただきたい。
- 事務局 : （資料5（鑑の文章の案）を読み上げ）

会 長 : ・読み上げていただいたとおりであるが、何か文面等で直した方がいいというご意見はあるか。

(質疑なし)

会 長 : ・それでは、原案のとおり提出するということで、ご承認いただけるか。

－原案どおり承認－

#### 答申書提出

会 長 : ・以上で、すべての議事は終了した。  
・これから答申に入るわけだが、委員の皆さんには、約1年間、計画づくりに携わっていただいた。答申書を渡す前に少し時間をいただいて、皆さんから一言ずつ、想いを述べていただきたいと思います。

委 員 : ・私は、前期基本計画を推進する高浜市の未来を創る市民会議に3年間携わらせていただいた。1年目は、何から取り組んでいいのかわからなかったが、基本計画の中から課題を出し、アクションプランに落とし、それをみんなで解決をしていこうと取り組んできた。チームワークもよく、アクションプランを解決した喜びや目標を達成したという喜びがあり、とても活性化してきた。  
・中期基本計画についても、課題をアクションプランに落としこんで取り組んでいけば、より活性化してくると思う。

委 員 : ・先ほど「自分自身が災害への備えができていない人の割合」の目標値が45%という説明があったが、私とすれば50%ぐらいを目指したいと思っている。  
・先日、高浜まちづくり協議会で防災ネットきずこう会とコラボレーションして防災訓練を行ったが、訓練なり防災講演会なり、やはり実際にいろいろなことに取り組む中でたくさんの人、できれば子どもたちを集めて取り組んでいくと、我々大人も再認識することができるようになる。今後もそういう形をとりながら、取り組んでいけたらと思っている。

委 員 : ・産業を活性化するという事は、笛は吹けどなかなか踊ってもらえない世界ではある。しかし、この中期では、行政がやれることは目いっぱいやっていただけるような内容をつくっていただけたと思う。今後、非常に期待している。

委 員 : ・会長から、高浜市ほど市民と一緒に取り組んでいるところはないというお話があったが、今回の中期基本計画の策定に携わり、市の職員の方々や市民の方々が、こんなふうに総合計画をつくっているということが実感できた。  
・私も、総合計画に基づいてアクションプランを実施していく立場である。全体の一部だということを自分でもイメージしながら、実現に向けて取り組んでいきたいと思う。

委 員 : ・いろいろとわからない中で、質問や意見を発言させていただいたが、本当に行政の方々は熱心に答えていただいた。  
・私どもは、まちづくり協議会に携わっている。この審議会の内容をふまえ、私どもも一生懸命、計画の実現に協力させていただきたい。改めて感謝するとともに、私どもも頑張りたい。

委 員 : ・我々の意見をかなり盛り込んでいただき、無理難題を言った点もあったと思う

が、いい形の計画ができたと思う。

- ・今後、アクションプランとして内容が具体化されると思うが、我々市民も一生懸命取り組むので、市民を交えて一緒に考えて具現化していきたいと思っている。微力だが協力させていただきたいと思うので、ご指導をよろしく願いたい。
- ・担当された市の職員の皆さん、本当にお疲れ様でした。

委員：・わからないことばかりだったが、きちんと説明いただき、とても勉強になった。  
・これからアクションプランを立てて、それがどのように実行されていくかを楽しみにしている。今後とも、よろしく願いたい。

委員：・今回の資料の中で、パブリックコメント結果を見ると、「意見として承ります」、「原案以外の意見を承ったもの」がそれぞれ7件あった。しかし、その7件を提出された市民は、恐らく素案の内容に沿った意見だと思って、提出されたのだろうと思う。

- ・市民の方たちが素案を受け止めたときに、内容をうまく理解できていない。意見を受け取る行政の側でも、何らかの対応をするといいと思った。市民の皆さんに想いを伝えることの難しさを感じた。

委員：・審議会委員という立場ではなく、職員プロジェクトチームのコーディネーターとして、一言、申し上げたい。委員の皆様には、本当に慎重にご審議を重ねられ、中期基本計画（案）をとりまとめていただいた。

- ・2000年に施行され地方分権一括法によって、高浜市は自立し、自己責任のもとで、自らの特徴に合った地域づくり、自治体運営を行うという流れで進めてきた。その流れの中で、中期基本計画を策定してきた。

- ・計画書を策定することが最終目標ではない。この目標を達成するために、実現するための取組みをつくり上げる必要がある。すなわち、我々職員に求められている能力は、政策立案、政策責任といった政策力である。併せて、市民との協働など、目標を実現すべき行動力、実現力も求められていると思っている。それが、強い職員力につながってくる。

- ・私は、この計画を成し遂げれば、これからの都市間競争の勝ち組になれると考えている。今後とも日々の努力を重ねてまいりますので、委員の皆様方にも引き続きさらなるご尽力をお願い申し上げます。

会長：・最後に、私から一言、申し上げる。

- ・今回、大変、優れた計画になったと思う。行政の皆さんは、達成が難しい、とても高い目標を掲げてくださった。行政の厳しい決意を示したと、私は非常に敬意を表したいと思う。

- ・と同時に、高浜市の持っているもともとの底力は、全国レベルで見ても非常にレベルが高いと、もっと信じてもいいのではないかと思う。

- ・パブリックコメントなどを見て思ったのは、まちづくりに関わりを持ってない市民もまだまだ多い。そういう方たちに参加してもらうためには、疎外感を持たせない、むしろ関わりたいなあ、話したいなあという開放性と、意欲を高めていく工夫も大事である。

- ・経営の点から申し上げると、かつての高度経済成長、中央集権時代の行政のスタイルは、「理論を現場化しよう」という流れであった。国や県がこう言っている、それをいかに現場化するかであった。しかし、分権・自治の時代は「現場を理論化する」ことが大事である。現場にこそ、新しい理論があるわけで、私は、この中期基本計画は、その現場を理論化するという意味でつくられた計画だと思っている。
- ・だから、法律がうまいこと馬借に合わないというなら、「法律を変えるべき」と言えばいいわけである。そういう力を持った自治体になればいいのである。何でも法的システムやフレームの中で物事を考えなければいけないというのは、ナンセンスである。
- ・だから、職員の皆さんは、政策を実現するために法律システムをどのようにしたらいいのか、予算をどう配分すればいいのかなど、もっと自信を持って政策を語っていただきたい。いずれは市長になるというぐらいの根性と心意気で、頑張ってください。
- ・そもそも「計画」とは、「計測 (Measurement)」と「企画 (Project)」という2つの言葉の合成である。計測とは、現状に対してきちんと統計的に分析すること。そして、企画とは、あるべき未来をイメージし、現状とあるべき未来の乖離状態を克服するための構想である。そうした構想力やエネルギーがなければ、何の未来も開けない。「今のままでええやんか」といったら、墮落、低落しかない。
- ・つまり、行政の仕事というのは、改革しかないわけである。今のままでやっていたいいというのであれば、職員の皆さんが退職した時には、惨めな未来が待っている。家族には相手にされない、市民にも相手にされないという未来が待っているというぐらいに考えていただき、より良く変えることこそ生きがいだと思っただけたらと思う。
- ・繰り返しになるが、「計画」は「計測 (Measurement)」と「企画 (Project)」である。中期基本計画の策定にあたっては、高浜市の皆さんはそのことを示してくださったというのが、私の喜びである。

事務局 : ・それでは、ここで答申書の提出のセレモニーをお願いしたいと思います。

- ・会長さんと市長は、前へお願いします。

会 長 : (答申書を読み上げ、市長へ手渡す)

事務局 : ・会長はご着席ください。

- ・それではここで、市長から皆様方に一言、お礼の言葉を申し上げます。

市 長 : ・審議会の委員の皆様には、約1年かけて中期基本計画(案)をご審議していただき、感謝申し上げます。会長からもお話があったように、職員の姿勢も、また、皆さんからのご意見も、本当にいい形で一つにまとまってきた。

- ・審議の過程で一番多く出てきたのが指標の問題である。行政が掲げる指標は、総合的な指標であり、なかなかわかりにくいものではあるが、全体の審議を通じて、ご理解いただけたのではないかと思います。
- ・「何%の目標に達するためには、こうする」という具体的な案を出したグループ

もあった一方で、目標値の達成に向けて具体的な説明ではなかったグループもあった。これは委員の皆さんがおっしゃったように、基本計画を具現化するアクションプランを立案する中で、きちんと担保していきたいと思う。進行管理にも、市民の皆さんの目が入るので、ご理解いただけないところがあれば、その時点で厳しいお言葉をいただければと思う。

- ・PDC Aのサイクルというのは、製造業で言えば日々回っており、また、作業を行う全ての段階においても回っている。なかなか行政の事務事業でそれを説明するのは難しいが、「問題点があったらどう改善するのか」という意識を常に持つことが大切である。先ほど会長がおっしゃったように「実際の現場を理論化」する。その時に、できない理由を説明するのではなく、どうしたらできるのか、「法律を取っ払ってもやれるじゃないか」、「こういう方法があるじゃないか」と考える中で、ひょっとしたら、課題を解決する大きな力が生まれてくるのではないかと思う。
- ・皆さんに作っていただいた、この中期基本計画に従って、私ども全力を傾注して、高浜市の未来に向けて、大家族たかはまの実現に向けて努力をしてまいります。

### 3 その他

- 事務局 : ・本日、答申していただいた中期基本計画(案)については、来年の1月28日(火)、29日(水)の2日間、第1回高浜市議会臨時会が開催され、審議される。委員の皆様でご都合のつく方は、ぜひ、議会の傍聴にお越しいただきたい。

